



IoT委員会特別賞

株式会社富士交通・道路データサービス

「FoXYZ」

## トラックの走行データで物流拠点の立地を検討

物流を担う貨物トラックに装着したデジタルタコグラフは、ビッグデータの源である。富士交通・道路データサービスでは、貨物トラック17万台の

走行データを統計処理し、地域人口や工業統計、商業統計などの情報を掛け合わせ、様々な業種・用途に応じた物流拠点の特性評価を実現。量・

質ともに類を見ないサービスである。

そのなかで、物流における生産性向上のカギを握る物流センターのテナント誘致や開発に必要な情報を提供するの、物流不動産向け情報サービス「FoXYZ」である。

貨物トラック側のデータは、速度、実際に利用した経路、要した時間を解析。さらに運行した期間やエリアにおける総運行量、個々の商用車の動き等を解析している。

分析サービスは、テナント誘致営業向け情報（時間別到達圏、労働人口、主要ランドマーク所要時間）、用地取得向け情報（ベンチマーク、道路共用効果予測シミュレーション）など。

図 「FoXYZ」の概要

